

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-262642 (P2003-262642A)
 【公開日】平成 15 年 9 月 19 日 (2003.9.19)
 【出願番号】特願 2002-62277 (P2002-62277)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 35/04

【 F I 】

G 0 1 N 35/04 A

G 0 1 N 35/04 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検体成分の定量分析を比色分析により行う自動分析装置において、
自動分析装置の上面を、反応セルを保持する反応ディスクが配置された反応ディスクエ
リアと、試薬ラックを保持する試薬ディスクが配置された試薬ディスクエリアとに分け、
前記試薬ディスクエリアの試薬ディスクの上方に、前記試薬ラックを前記試薬ディスク
へ投入する投入機構を備え、
前記反応ディスクエリアには、その上面を覆う第 1 の開閉蓋が開放可能に取り付けられ

、
前記試薬ディスクエリアには、前記投入機構を含む上面を覆う第 2 の開閉蓋が装置上面
に仮止めされて取り付けられ、
装置側面には、試薬ラック投入口が設けられると共に、この試薬ラック投入口を覆うよ
うに開閉可能に取り付けられる試薬トレーを備えたことを特徴とする自動分析装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の自動分析装置において、
前記試薬トレーを開いたときの上面に、前記試薬ラックを前記試薬ラック投入口に案内
する試薬ラック案内溝を設けたことを特徴とする自動分析装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の自動分析装置において、
前記試薬ディスクは、試薬ラックを二重の同心円状の試薬ラック収納部を備えているこ
とを特徴とする自動分析装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のうちいずれか 1 記載の自動分析装置において、
複数の検体容器を保持する検体ラックを複数収納可能なバッファディスクをさらに備え

、
前記バッファディスクは、検体容器内の検体を反応セルに分注する分注位置となる検体
溝に、送り込まれた検体ラックを所定の順序で送り出すことを特徴とするの自動分析装置

。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る自動分析装置は、前記目的を達成するために、自動分析装置の上面を、反応セルを保持する反応ディスクが配置された反応ディスクエリアと、試薬ラックを保持する試薬ディスクが配置された試薬ディスクエリアとに分け、前記試薬ディスクエリアの試薬ディスクの上方に、前記試薬ラックを前記試薬ディスクへ投入する投入機構を備え、前記反応ディスクエリアには、その上面を覆う第 1 の開閉蓋が開放可能に取り付けられ、前記試薬ディスクエリアには、前記投入機構を含む上面を覆う第 2 の開閉蓋が装置上面に仮止めされて取り付けられ、装置側面には、試薬ラック投入口が設けられると共に、この試薬ラック投入口を覆うように開閉可能に取り付けられる試薬トレーを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】